

< 学校教育目標 >

豊かな心と確かな力を持ち、力強く未来を生き抜く児童の育成



令和2年度 協働型学校評価重点目標

人と関わり、豊かな心で互いを認め合う児童の育成

自分から進んで挨拶のできる児童の育成を重要課題と位置付け、到達目標として、「できた」とする割合を70%以上にする。

人との関わり

「だれに対しても場面に応じて自分から進んで心のこもった挨拶をし、人との関わりを広げていこうとする子供」

- 進んで挨拶ができる子
- 自分の考えを伝え合うことができる子
- 友達と協力しながら自分の役割を果たし、より広く、より深く交流を進めていく子

互いを認め合う

「友達、先生、保護者、地域から認められ、褒められ、達成感を味わうことで、意欲と自信を持って生活できる子供」

- 友達のよさに気づき、学び合いを通して、意欲と自信を持って生活できる子
- 自己肯定感を持って生活できる子

～一人一人の子供の夢の実現に向けて取り組む学校～

楽しい学校 わかる学校 伸びる学校

目標達成に向けた三者の取組

学校

- 自分の考えを持ち表現する力を高める授業づくり
- 自他のよさに気付く学び合いの機会の充実

家庭

- 子供たちへの積極的な挨拶や声掛け
- 子供のよさや努力への賞賛や励まし

地域

- 子供たちへの積極的な挨拶や声掛け
- 学校ボランティア等への積極的参加

力強く未来を生き抜く力の基盤

- 望ましい生活習慣の確立

- 運動の日常化と基礎体力の向上

- 食育の充実による健康な体づくり